



鯉のぼりに願いを込めて…

風が心地よい季節となりました。5月といえば、端午の節句。五月人形と共に、鯉のぼりも掲げるお家もあるかと思えます。そもそも鯉のぼりとは、江戸時代の武士の家庭では、男の子が産まれると、家紋のついた幟（のぼり）をたてて祝う風習があり、それが一般にも広まり「鯉のぼり」となり飾るようになったのが始まりだそうです。では、どうして「鯉」なのでしょう。もともと鯉は、池でも沼でも生きることの出来る、生命力の高い魚です。又、多くの魚の中で滝を昇る事が出来た唯一の魚「鯉」が竜になった。という中国の故事「登竜門」より、健康で立派に出世しますように、と願いが込められているそうです。今も昔も子供を想う気持ちは同じですね。



## 『お茶で元気に夏を迎えましょう!』



暦の上では夏が始まるとされる5月。茶摘みの歌でも「夏も近づく八十八夜〜♪」とありますよね。八十八夜とは、雑節のひとつで立春から数えて88日目を指し、夏に向けての準備を始める日。毎年5月2日頃がこの日にあたるそうで、「米」という漢字を分解すると八十八になることから、農業に携わる人にとっては大変重要な日とされてきたそうです。現在でも農家では、霜よけのよしずを外したり、田植えや種まきを始めるところが多いようです。

そして、その年の最初の新芽で淹れたお茶を「一番茶」「新茶」といって縁起良く好まれますが「八十八夜に摘まれた新茶を飲むと病気にならない、長生きする」とも言われ、冬の寒い時期にゆっくりと養分を蓄えた新芽は栄養価が高く、旨み成分テアニンも豊富に含まれているからだそうです。香りがとても良いですし、お茶が美味しいここ静岡で、健康の為にも癒しの一服にもこの時期の新茶を飲んで元気に過ごしていきたいものですね。



さて、私事ではありますがお腹に新たな命を授かり8月に出産を控え、今月19日を持ちまして当センターを退職させて頂き運びとなりました。東海医療学園に来て10年。鍼灸マッサージ師として大半の月日をこちらで過ごさせていただきました。施術を通し沢山の方と出会い多くの事を学ばせていただき、私の人生において大変に濃厚で貴重な経験をさせていただいた日々でした。お一人お一人にご挨拶させて頂きたいのですが、この場をお借りして御礼申し上げます。退職後は、しばらく出産・子育てという新たな世界に飛び込み葛藤の毎日かと思えますが、子供と共に私自身も成長し、そして必ず臨床の現場に戻ってきたいと思えます。



気温の変化が大きい時節柄、どうかお身体大切にお過ごしください。  
皆様とのご縁に感謝です！ 大変にありがとうございました。

関口 貴子



— おしらせ —

◇太極拳教室 やってます♪ ◇

毎週 月・土曜日 15:00~16:30 東海医療学園専門学校 3階実技室

入会金：¥6000 /年会費：¥6000(保険加入料) /受講料：熱海在住および勤務の方¥4000  
~健康、美容に、究極の養生法！力を使わず相手を制する護身術☆ 詳細は受付まで…。

### 【5月休診日】

3日、4日、5日

7日、14日

21日、28日



関口 貴子 (せきぐち たかこ)

出身地：新潟県

はり・灸・あん摩マッサージ指圧師

医療リンパドレナージセラピスト

